つぎなにプリント1

夕がたのこうえん。
こうえんから出ようとしたわたしは、
ふと　足下で　なにかがうごいていることに
気づいた。
それは、　コオロギだった。
コオロギは　ありにはこばれていた。
ありは、うれしそうに　わっせわっせと　はこび
コオロギは　しずかに　じぶんの　うんめいを
みつめていた。
わたしは　こころが　いたくなった。
だって、　そのコオロギは　さっき
わたしが　虫かごから　すてたんだもの。
よわってきたから　もういらないって・・・。
わたしのせいで、コオロギがたべられちゃう。

わたしは、